

乳剤とし、防腐剤を加える。3, 5 を混合熔融し、60° 位になった時、前記に加えて混和し。かきまぜながら冷却する。冷後香料を加える。

2. 粘漿を含まない乳液

これはバニシングクリームの水が多くなった形ということができる。アルカリにトリエタノールアミンを用いれば美しい真珠様光沢をもった乳液が得られる。

(1) 1. グリセリル	4. アルコール	5%
・モノステアレート 3.5%	5. トリエタノールアミン	1"
2. 油酸	2.5"	6. 水
3. グリセリン	5"	7. 香料
		適宜

1, 2, 3 を 90° に加温し、これに 6 の半量を加熱してよくかきまぜながら加え、5 を 6 の残りに溶かして 90° に加熱したものを、前記にかきまぜながら徐々に加える。かきまぜながら冷却し、冷後 7 を 4 に溶かしたものを加え、一夜放置し、翌日再びかきまぜた後、濾過する。2 をステアリン酸に代えればさらに濃稠な製品が得られる。

(2) 1. ステアリン酸	3%	5. ホウ砂	0.75%
2. セタノール	2"	6. 水	89"
3. グリセリン	4"	7. 香料	0.5"
4. トリエタノールアミン	0.75"		

1, 2 を混合熔融し、3, 4, 5 を 6 に溶かして加熱し、これをかきまぜながら前記に徐々に注加する。かきまぜながら冷却して約 50° 位になった後、7 を加える。

(3) 1. Amerchol L-101	10.0部	5. ステアリン酸	4.5部
2. リキッド・ラノリン	10.0"	6. トリエタノールアミン	0.5"
3. 流動パラフィン	34.0"	7. 水	50.0"
4. 蜜 蠟	1.0"	8. 香料	1.0"

1~5 を混融 80° に加熱し、別に 6, 7 を混合し 80° に加熱し、水液を油液中に攪拌し乍ら加え、室温になるまで攪拌をつづける。40° の時香料を加え、一夜放置し、再び徐々に攪拌する。これは油性の乳液である。

Amerchol L-101 は American Cholesterol Products, Inc. (milltown, N.J.) の製品で、ラノリンアルコール部を抽出したもの、コレステロールその他の高級アルコールを含み、非イオン活性剤でもあり、吸収基剤の原料にも用いられる。リキッドラノリンはラノリンを分画して液状部を取り出したものである。前記の会社の製品では Viscolan (商品名) がそれに当る。

(4) ベビー・ローション Baby Lotion

流動パラフィン	10.0%	ベンザルコニウム・	
シリコン	1.5"	クロリド	0.1%
グリセリルモノステアレート		グリセリン	3.5"
	2.0"	香料	0.3"
ソルビタンモノオレエート	0.6"	水	82.0"

これは赤ちゃん用のローションで、オシメカブレ予防にも好適である。

3. ハンドローション Hand Lotion

家庭を預る主婦や家政婦の手は水を使う機会が多い、また職業上、手を水に浸す機会の多い人が増えた。水あるいは洗剤による手の肌の荒れを防ぐためのハンドローションの需要は世界的に増加しつつある。

皮膚の潤いは角質層に含まれている吸湿性の水溶性成分により保たれているので、水をよく使う手はこの成分の損失を来し、最も荒れ易い、従って適当なハンドローションを使って皮膚の荒れを防がねばならない。

ハンドローションとしては、一般の化粧液を用いてよいのであるが、化粧乳液の系統がより適しており、殺菌剤を配合したもの、シリコンを配合して防水性を加味したものなどが作られている。

殺菌剤はヘキサクロロフェンやピチオノールなども用いられるが、第四級アンモニウム塩の様なカチオン性活性剤も用いられる。

処方例

(1) ステアリン酸	5.0%	トリエタノールアミン	0.2%
流動パラフィン	1.0"	水	89.9"
ソルビトール	3.5"	防腐剤	適宜
水酸化カリウム	0.4"	香料	"